

限界質量モデルを用いて流行を予測することは可能か

古郡大也

流行の予測はできるのだろうか？流行は「時間的、空間的な集中によって起こる社会現象」であるが、先行研究で流行が発生するかどうかについての研究がなされている。しかし、それらの研究では流行が発生するかどうかを予測することはできなかった。そこで、本研究は質問紙によって初期値を求め、社会におけるある行動の採用率がどの水準で帰結するかを説明する限界質量モデルとある時点での特定の行動をとる比率から、その比率を前提としたときのその行動をとる行為者の比率を示す反応曲線を用い、特定の行動をとる採用者の割合がどのように推移し、帰結するかを見ていくことで流行が発生するかどうかを調査した。その結果、シナリオにもよるが飲み物の場面想定をしてもらったシナリオにおいて、60個用意した集団のうち48個において流行する傾向が見られるという結果となった。このモデルによって今までの先行研究ではできなかった流行の発生を予測することができるようになった。シナリオの分類によって流行が起きやすいものや起きにくいものがある可能性があったため、今後はより多くの種類のシナリオを想定することで、流行が発生しやすいものの特性が分かる可能性がある。